

活用効果評価結果

公開版

関東地方整備局 新技術活用評価会議

令和6年度

NETIS 情報	開発目標	品質の向上、施工性の向上、工程の短縮				
	新技術登録番号	KT-220179-VE	区分	システム	有用な技術の位置づけ	-
	分類	共通工 - 情報化施工				
	新技術名	KOLC+ 4D工程表				
	比較する従来技術(従来工法)	一般的な工程表及び施工図				

活用効果評価	新技術の概要及び特徴	本技術は、BIM/CIMモデルと工程表を連携しクラウド上で4D施工シミュレーションを共有できるサービスで、従来は、一般的な工程表及び施工図で対応していた。本技術の活用により、現場で4Dシミュレーションが確認でき進捗管理等が可能になるため、施工性の向上が図れる。				
	所見	<p>【優れていた所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工ステップに関する具体的なイメージ共有と正確な合意形成、円滑な施工により、工程、品質・出来形、施工性に優れる。 ・使用機械の作業能力を反映したモデルによって、作業半径、配置位置が容易に把握できるため、安全性に優れる。 <p>【劣っていた所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 				

活用効果評価	次回以降の評価に対する視点と評価の必要性	・調査表及び施工状況より技術特性が確認でき、継続調査の要件に該当しないため、情報種別記号を「-VE」とする。					<p>項目の平均(点)と従来技術(従来工法)(点)の比較</p> <p>参考</p>
	留意事項	・特になし					
	活用効果調査表における改良点及び要望	・特になし					

参考	対象工事	1	高架橋上部工事	(従来技術 : 一般的な工程表及び施工図)	施工者選定型(契約後提案)
		2	高架橋上部工事	(従来技術 : 一般的な工程表及び施工図)	施工者選定型(契約後提案)
		3	高架橋上部工事	(従来技術 : 一般的な工程表及び施工図)	施工者選定型(契約後提案)
		4	橋梁上部工事	(従来技術 : 一般的な工程表及び施工図)	施工者選定型(契約後提案)
		5	岸壁工事	(従来技術 : 一般的な工程表及び施工図)	施工者選定型(契約後提案)
		6	岸壁工事	(従来技術 : 一般的な工程表及び施工図)	施工者選定型(契約後提案)
		7	ゲート修繕工事	(従来技術 : 一般的な工程表及び施工図)	施工者選定型(契約後提案)
		8	橋梁下部工事	(従来技術 : 一般的な工程表及び施工図)	施工者選定型(契約後提案)
		9			
		10			
		11			
		12			
		13			
		14			
		15			
		16			
		17			
		18			
		19			
		20			

活用効果調査結果	項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	項目の平均(点)	従来技術(従来工法)(点)		
	施工時評価	経済性	C	D	B	C	D	A	D	D														C	C
		工程	A	B	A	A	B	-	B	A														B	C
		品質・出来形	B	B	B	C	B	-	B	A														B	C
		安全性	C	C	B	A	B	-	B	C														B	C
		施工性	B	B	A	B	A	A	B	A														B	C
		環境	C	C	C	C	-	-	C	-														C	C
	その他																								
	総合評価点	C	C	B	B	B	A	C	B														B		
	今後、当該技術を活用出来る工事に活用したいか	今後も是非活用したい		活用を検討したい		場合によっては活用することもある		技術の改良を強く望む												各項目における判定					
	44%		37%		19%		0%												A	従来技術より大幅に優れる					
																					B	従来技術より優れる			
																					C	従来技術と同等			
																					D	従来技術より劣る			

追跡調査の必要性	不要																						
追跡調査	-																						